

科目名	保育体験実習	使用教材	教材等（参考文献） 文部科学省『児童文化』
単位数	3 学年； 2 単位履修 （前期 4 単位） ベーシックコース	評価方法	<b>評価の対象</b> ；「定期考査」・「小テスト」の点数、「プリント・作品・実習レポート」の提出物、授業・実習態度、出席状況をもとに総合的に評価します。 <b>評価の割合</b> ；「定期考査」の点数が 5 0 % 「その他の評価」が 5 0 % です。

### 学習到達目標

保育体験実習は、乳幼児と触れ合う学習や、授業での実習を通して、乳幼児の発育・発達の特徴・乳幼児の生活と保育などに関する知識やを身につけ、子どもの健全な成長に関心を持ち、かかわろうとする意欲や実際にかかわることのできる実践的な能力を育てることを目標としています。

#### ★授業について

○座学では副教材やプリントを中心に、乳幼児の発育や特徴などの基礎知識を身につけていきましょう。配布されたプリント類はもれなく記入し、すべてファイルに綴じておきましょう。ファイルは授業毎に提出します。

○子どもの食生活の学習では、離乳食・幼児食の実習を通してしょく生活のあり方を学びます。常に保育者の目線で子どもの食生活を捉えましょう。

○子どもの遊びの学習では、絵本の読み聞かせや紙芝居の実演などを行って児童文化財に触れたり、手作りおもちゃの製作を通して積極的に実習に取り組みましょう。

○乳幼児ふれ合い体験に参加することにより、実際に乳幼児や保育者の方々と触れ合って育てることの意義や親子関係の大切さを認識できるようにしましょう。

#### ★家庭学習について

◎日頃から乳幼児と触れ合う機会を持って、子どもに対する興味・関心を高めておきましょう。又、保育者としての立場にも目を向け、親や自分の周りの人々と積極的に関わりをもつようにしましょう。

◎伝承遊びである折り紙の実習により、基本的な折り方を学習します。これは長期休暇中（夏季・冬季休暇）に任意に受験する保育検定に役立ちます。

◎ボランティア活動などで乳幼児ふれあい体験の機会を増やしましょう。（その都度、連絡します。）

#### ★その他

定期考査は子どもや保育に関する新聞記事に対する意見を問う問題も出題します。日頃から時事問題に興味を持ち、自分の考えをまとめておきましょう。

### 評価の観点

観 点	評 価 規 準
A：関心・意欲・態度	子どもの身体的・精神的発達や保育に関して関心を持ち、それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。
B：思考・判断	子どもの発達や保育に関する幅広い知識を身につけ、また実習や観察などを通して、子どもの行動を客観的に判断し、理解を深めることが

	できる。
C：技能・表現	子どもの発達や保育に関する基本的な技術を身につけ、子どもを取り巻く問題について自身の考えを発表などで表現できる。
D：知識・理解	子どもの発達や保育に関する幅広い知識を習得し、子どもの行動や生活を充実向上させるために必要な知識を総合的に身につけている。

## 学習計画

A：関心・意欲・態度 B：思考・判断 C：技能・表現 D：知識・理解

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単 元	目 標	学習の要点
4		○乳幼児の発達と発育 ○幼児の発達と発育 ○家庭保育と集団保育 ○子どもの遊び ○乳幼児の事故と安全	・子どもの表現を豊かに育てるために ・乳幼児を取り巻く環境と保育について理解する。	◆近隣の厚生施設で児童期に遊んだ思い出を参考にする。【A】 ◆作業により班別に分かれ、保育園実習に向け準備する。【C】 ◆絵本の読み聞かせ方法【C】 ＊読み聞かせによる心の動きを読み取る
5		<b>第1回保育実習</b>  ○乳幼児の健康 ○生活習慣としつけ	・児童福祉施設の内容・機能等を実践現場での体験を通して理解する。 ・習得した知識・技能を基礎とし、幼児と望ましい関わり方を学ぶ。	◎児童福祉施設訪問① ◆第1回レポート作り【B】 ●児童虐待・家庭崩壊・少子化などについて【D】 ◆子どもにあったおもちゃ選び ◆おもちゃ作り【A・C】 ＊児童文化財に対する幼児の動きを読み取る
6		○子どもの生活と環境 ○家庭保育と集団保育	・保育園実習により職業としての保育士の立場を考える視点を育てるようになる。 ・様々な文化財を理解し、それを応用できる。	◎児童福祉施設訪問② ◆第2回レポート作り【B】 ◆児童福祉施設 ＊施設通園児童の心を探る
7		<b>第2回保育実習</b>  ○子ども福祉とは  ○子どもの福祉と法律・制度	・保育園実習により職業としての保育士の立場を考える視点を育てるようになる。 ・様々な文化財を理解し、それを応用できる。	●児童虐待防止法 ●児童憲章 ●児童の権利に関する条約【D】 ＊児童に寄り添える自分を感じる
9		○これからの子どもの福祉	・子どもの福祉について理解し、児童憲章や児童の権利条約などを理解する。	